

答辞 卒業生代表 藤井 涼

長く厳しい寒さもしだいに和らぎ、穏やかな風が春の訪れを感じさせるこの佳き日。私たち二十六名は、希望を胸に抱き、卒業という日を迎えました。



本日は、私たちのために、盛大な卒業式を挙げていただき、本当にありがとうございました。校長先生をはじめ、多くのご来賓の皆様から数々のご祝辞と励ましの言葉を賜り、私たちは身の引き締まる思いと感謝の気持ちでいっぱいです。

三年前の春、私たちは真新しい制服に身を包み、この宮古北高校に入学しました。入学後、まもなく始まった応援歌練習では、応援団の厳しい指導の下、必死になって歌詞を覚え、声を枯らししました。辛く逃げ出した時もありましたが、仲間と励まし合い、やり遂げることで、一回り成長することができました。

日本の歴史や文化に感銘を受けた修学旅行。京都での自主研修、薬師寺での法話、USJ、どこに行っても、友達と笑い合ったことは今でも鮮明に記憶に残っています。

勝利を目指し、全力で闘ったオリンピック。皆で協力して、一つのものを作り出す難しさとやり遂げた後の達成感を味わった宮北祭。目を閉じてみると、様々な思い出が駆け巡り、仲間たちの笑顔が思い浮かびます。

思うように成果が伸びず、悩み苦しんだ部活動。私はバレーボール部に所属していましたが、人数が足りず他校と合同チームを組んで練習し、試合に出ていました。チームとしてまとめることは難しいと感じましたが、相手を思いやり、助け合うことで、チームに近づくことができました。時には意見が対立することもありましたが、そのたびに話し合い確認をしました。合同チームは、私にとって共に頑張ってきた、かけがえのない大切な存在です。

三年生の皆とは、様々な思い出ができました。しかし、その思い出を作るのも、今日が最後だと思うと、とても寂しく、心残りに思います。私は皆と、同じクラスで勉強して過ごした日々を忘れません。

三年間、個性たっぷりで素直ではない私たちを、優しく時には厳しく見守ってくださいました先生方、私たちのことを第一に考え、様々な助言をいただいた、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、ご多忙の中をご臨席くださいましたご来賓の皆様、諸先生方、保護者の皆様、在校生の皆さんに卒業生一同心より感謝の意を表すとともに、これからの宮古北高等学校のますますのご発展とご多幸をお祈りし、答辞とさせていただきます。

平成二十七年三月一日



同窓会入会式 新会員 二十六名

卒業式に先立ち、二月二十七日(金)、本校第一体育館において同窓会入会式が挙行されました。同窓会長・赤沼雅人様より歓迎のメッセージをいただき、卒業生二十六名が新しく入会しました。

式後には、小向春樹君、坂下千秋さんの二名が評議員になることが確認されました。卒業後も同じ学舎で過ごした仲間として、心のつながりを持ち、様々な世界で活躍してほしいと期待しています。



卒業おめでとう！ はなむけの言葉

副校長 松場喜美夫

生徒の皆さんとは授業もありませんでした。あまり話をする機会がありませんでした。卒業にあたり、紙面を頂戴することができましたので、ペンを取りました。まずは、3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

入学式からの3年間は、どのような日々だったでしょうか。皆さんが入学したのは、震災後でしたから、既に小さい宮北であったと。後で思えば、野球部やバレーボール部はチームを組んでいましたし、吹奏楽も10名前後の部員がいたでしょう。当時

進路指導主事 廣瀬謙二

ビブ・ラ・ミヤキタ

卒業生のみならず「流れ星の法則」を覚えていいますか。流れ星が見えている間に願い事を三回唱えたと願いが叶うという話です。約三年前の四月十一日、進路ガイダンスの中で君たちに話をしました。大事なことは目標を「意識」して行動すること。意識を継続することで最終的には「人格」が変わり、「運命」が変わると話しました。

「客観視」をキーワードで二年生の時に話をしました。目標があつて達成するために自分の行動・言動を客観的に見るこ

団旗引継式

二月二十七日(金)本校第一体育館において、応援団団旗引継式が行われました。過日、早稲田大学応援団リーダーによる特別研修を受講した新リーダーたちは、堂々とした声・手振りでの在校生を指揮し、卒業生へ、感謝と饒の気持ちを込めての団旗を贈りました。それに答えて、旧リーダー・卒業生たちから在校生へ激励のメールが贈られました。三年間鍛えた手振りの技と声で、感動のメール交換となりました。

旧応援団長あいさつ

私たちの応援や、校歌など沢山のことを今在校生の皆さんに引き継ぎました。新応援団長皆川拓紀君の下、今後さらに良い応援団に発展させていってください。期待しています。

旧応援団長 小向 春樹

新応援団長あいさつ

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今まで沢山お世話になりました。本当にありがとうございました。これから、応援団長として全校を引っ張り、よりよい応援活動ができるよう頑張ってください。

新応援団長 皆川 拓紀

